

令和4年11月2日

令和4年度 大阪府立三島高等学校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 実施日 令和4年10月24日(月) 14:00~16:00

2 出席者

(1) 協議会委員 (アイウエオ順)

楠 正吉 (三島高等学校同窓会会長)

中村 利久子 (高槻市立郡家小学校校長)

林 武文 (関西大学教授)

山本 富美恵 (三島高等学校PTA会長)

(2) 学校側

山下克弘校長、山崎一郎教頭、前田隆志首席、古謝伸二事務長

3 議題

(0) 6時間めの授業を見学した後、校長室にて以下の議題について審議を行った。

(1) スクール・ミッション案について

(2) 学校経営計画進捗状況について

(3) 教科書選定理由書について

4 委員からの指摘提言

(0) 授業見学について

・先生方が非常に工夫されている。単に映像を見せるだけでなく、画面に書き込みをされたりして、その様子は私自身が非常に参考になる。

・皆よく集中して授業を聞いている。

・マイクを使われている先生が居られた。マスク越しで発声がかくぐもるので使われていると思うが、昨年、PTAでマイクを購入しようかという案も出たが、今はどうか。

→学校側) そんなに先生方は希望されていない。使われている先生はご自身用を購入されて、その方が使いやすいとのこと。

今日、各先生方の授業を観て、じゅうぶん声が届いている。特に全員にマイクは必要ないのかなと思いました。

・午後一番の授業で生徒は眠気と闘っていると思うが、先生方が画像を映したり、ペアワークをされたりと工夫されている。こちらの働き掛け次第で生徒が集中すると実感した。また、校内の案内図が生徒作成のピクトグラムになっており、生徒が主体となって作られているのも良い。

→学校側) ピクトグラムは美術展での生徒の作品です。

・先生方のアクティブラーニングやメディア教材が工夫されているが、それは教員同士で研修等をされているのか。

→学校側) 校内で授業公開週間を設け、共有化している。また、各教科で情報共有している。

(1) スクール・ミッション案について

・今までの三島高校の様子、校訓、校風を考えると妥当な案ではないかと思います。

・案には「自主自律・文武両道」とあるが、「自由闊達」も入れて欲しい。スクール・ミッションそのもの

に入れなくても良いが、その説明部分に反映させてほしい。もともと自分が在籍していた時代から、「自由闊達」が三島の個性だと思っている。

- ・子どもに聞くと、思ったより自由ではないとも言う。保護者からすると、「自主自律・文武両道」の校訓はピンと来る。
- ・地域の学校から見ると、「自由闊達」を改めて強調しなくても良いかなとは思いますが。
- ・三島の校風として、学習と部活動だけでなく、様々な事に取り組んでいるので、説明部分にそういう全ての教育活動に自由闊達に取り組んでいるという内容を反映させられないか。
→学校側) スクール・ミッションそのものはシンプルに行きたいので、これをお願いしたい。その下の説明文にご意見を反映させたい。

※学校案で承認された。

(2) 学校経営計画進捗状況について

- ・対外的な部分は順調にされている。部活動の参加率が若干低下しているが、コロナの影響もあるのではないかな。大学でもオンライン中心で他者との関わりが弱くなっており、コミュニケーション能力の育成について、今後、時間をかけて取り組む必要があると思っている。
- ・観点別評価については、大学でも苦慮している。主体性をどう評価するか。点数化してもそれで図れるとは思えない部分もある。
- ・キャリアデザイン関係の取組みは面白い。普段、なかなか出会えない職業と出会えて、生徒の興味関心を高めた取組みが出来ている。
- ・部活動の事や遅刻が少し増えているのも、コロナの影響が出ていると思う。自分の気持ちを伝える事が下手だったり、それをフォローする友人や先輩が減っていたりなどもあるので、自分自身、部活動を変わった経験があり、そういう形で高校生活を過ごすのもありなので、引き続き様々な支援をお願いしたい。
- ・自分の子どもが一年生の時のキャリアガイダンスの取組みが凄く面白かったと言っている。これからもよろしくお願いしたい。遅刻に関しては、やはり夜遅くまで起きている生徒も多いのではないかな。
- ・部活動については、もし、今参加している部活動を辞めてもその後しっかり次の道を見つけてくれればよい。
- ・校内でいろんな居場所を見つけて頑張ってもらいたい。こんな道もあるよと教員から支援をしてあげてほしい。
- ・そういう意味では教育相談機能を充実させていかれているのは良いと思います。小学校でも1か0かみたいな取り方をしている子どもが増えており、何かに取り組んでも失敗すればそれで終わり。また、コロナ禍の中で、小学生でも家にいるのが居心地よく、同時に他者と繋がる経験が出来ていない子が増えている。人に自分の気持ちを伝える事が苦手な子が増えている。
- ・ちょっとした声かけで生徒は変わる。大変だと思うが、ぜひ先生方で声をかけてあげて欲しいし、今の取組みを進めていただければと思う。

(3) 教科書選定理由書について

- ・選定理由書について、意見はなし。